

市認証特産品に焼酎「檜沢城」追加



市認証特産品「常陸大宮さん(産)」に新たに1品目が追加されます。

「常陸大宮さん(産)」特産品認証制度は、市内で生産された優れた農林水産物や加工品の生産拡大や販売促進を目的として「常陸大宮市らしさ」、「品質・価格」、「信頼性・安全性」、「市場性・将来性」といった審査基準を満たしたものを市の特産品として認証するものです。

本格そば焼酎 檜沢城

(株式会社剛烈酒造)

常陸大宮市檜沢地区で栽培された奥久慈常陸秋そば1等級を使用したそば焼酎。

檜沢城とは、戦国時代に常陸国を統一した戦国大名 佐竹氏の領国西側を守る拠点城郭の名前に由来します。



■問い合わせ■ 農林振興課 生産流通グループ 電話：52-1111(内線203)



11/
19~21

全日本シニアバドミントン選手権大会 山方在住 小口さんが準優勝

山方地域在住の小口弘之さんが、第39回全日本シニアバドミントン選手権大会65歳以上男子シングルの部において、見事準優勝に輝きました。

高校時代からバドミントンを始めた小口さん。定年後は、大手術を経験するも、リハビリを行い、年齢や体力に合わせ、工夫と研究を重ねてきました。「バドミントンは「考える力」が身につくスポーツ。多くの方に実践していただければ」と話していました。



▲小口 弘之さん

1/21

現地で常陸大宮市史4 御前山ダム周辺で冬の野鳥観察を実施

「現地で常陸大宮市史4」を開催し、常陸大宮市史編さん委員会自然部会の仲田 立 専門調査員の解説のもと、御前山ダム周辺で冬の野鳥観察を行いました。双眼鏡や望遠鏡を用いながら、カンムリカイツブリやオナガガモ、キンクロハジロなどの鳥類を観察し、その生息状況や生態について学びました。参加者からも多くの質問があり、市内に生息する鳥類について理解を深める機会となりました。



▲仲田専門調査員の解説を聞きながら野鳥を観察する様子

1/16~18 献血功労団体に感謝状授与

5年以上、継続的に献血活動に協力した市内4団体へ、日本赤十字社から感謝状が贈られました。

感謝状授与団体

- 未来工業株式会社
- 社会福祉法人永寿会
特別養護老人ホームドルフィン
- 茨城県常陸大宮土木事務所
- 茨城県県北農林事務所常陸大宮地域
農業改良普及センター



▲未来工業株式会社 管理課長 小森勝広さん

1/26 認知症サポーター養成講座

小場区で「認知症サポーター養成講座」が開催され、班長などの30名が参加しました。

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の方とその家族を温かく見守る「応援者」のことをいいます。参加者からは「次回も講座を受けたい」「認知症についてより理解が深まった」「地域で困っている方への声掛け、見守りをしていきたい」との声が寄せられました。



▲講座の様子

1/26 「文化財防火デー」 常弘寺で放水訓練を実施

毎年1月26日は文化財防火デーです。昭和24年1月26日、法隆寺金堂の壁画が焼損する火災が起きました。これを機に火災があった1月26日が文化財防火デーと定められました。この日の前後に毎年全国的に文化財防火運動が展開されており、本市でも、石沢の常弘寺で防火訓練を行いました。常弘寺は、親鸞聖人の二十四輩第二十番の旧跡寺院で、昔から多くの人々に信仰を受けてきた由緒あるお寺です。本堂には、阿弥陀如来立像と聖徳太子立像があり、2体とも県指定文化財になっています。

訓練では、お寺関係者、隣接する若草幼稚園の園児及び職員、東消防署、教育委員会が参加しました。通報訓練、避難訓練を行ったあと、消防によるお寺への放水訓練が行われました。また、園児による水消火器取扱訓練が行われました。

皆さんの身近にも多くの文化財があります。貴重な財産を火災等から守るため、今後も市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。



▲常弘寺の火災を想定し、放水する様子



▲若草幼稚園児が消火体験！

1/18~27 緒川小 「イノシシ狩猟」「詩と福祉」の授業を実施

1月18日、緒川小学校3年生が、市内でイノシシ駆除を行っている増山 洋治さんを講師に迎え、イノシシの生態や、駆除についての話と、駆除時に猟犬に装着しているGPSを使ったデモンストレーションを行いました。時々、校庭にイノシシが現れるなど、身近な存在であるイノシシですが、「案外臆病」といった意外な生態に児童たちは驚いていました。また、イノシシの歯の標本や、GPS機械に触れる場面もあり、終始、興味深々な様子で授業を受けていました。

講義で「イノシシ駆除は人間が生きるために、やむを得ず命をいただいている行為」と増山さんは語り、命の大切さについて学ぶことができました。

1月27日には、4~6年生に対し、盲目の詩人 小泉 周二さんによる詩と福祉の授業が行われました。

授業では、小泉さんによる詩のギター弾き語りを通して、詩の作り方を学んだり、話や質問を通して、目が見えない人の生活や、状態、気持ちを学びました。児童からの「目が見えないのにどうして様々なことにチャレンジしようと思ったの?」「どのようにして生活を送っているの?」とたくさんの質問に、丁寧に答える小泉さん。実際に盲目である方から、話を聞く貴重な機会になりました。



▲イノシシの歯の標本に興味深々な児童



▲盲目の詩人 小泉さんから、詩を作るための視点を学びました。

1/31 シルバーリハビリ体操3級養成講習会開催

全5日間の講習会で筋肉、骨、神経などの解剖運動学と、椅子やマットを使いながら、本市の1級指導士4名が講師となり、92種類のシルバーリハビリ体操の実技講習が行われました。

シルバーリハビリ体操は、道具を使わず、いつでも・どこでも・一人でも・どんな姿勢でも行える体操です。いきいきといつまでも元気に暮らせることを目的としたシルバーリハビリ体操を普及させ、地域の介護力を高めるため、新たに加わった15名の3級指導士の活躍が期待されています。



▲講習会の様子

〈お詫びと訂正〉

広報常陸大宮 令和5年1月号14ページ内で誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

[誤] 常陸大宮那須烏山線バイパス

[正] 常陸太田那須烏山線バイパス